

お客さまの高齢化に備えましょう！

VOL.31



江端（佐治）ひとみ

健康な爪の維持が生活の質の向上につながる

第31回は、ケアセラピスト講師で看護師の美島 めぐみ講師のネイルケアのお客様、彦根高校 3年4組 吉田康広さんのお父様より、嬉しいお言葉をいただきましたのでご紹介させていただきます。

息子は、18歳の時、留学先のオーストラリアのキャンプ地で、岩から滑落し、頭部外傷性硬膜下血腫により命も危ぶまれる状態になりました。一命は取り留めたものの、以来在宅にて介護状態となり今に至ります。車いすの生活を続けると足の機能も退廃し、指先に力が加わらないので巻き爪になりました。何とかならないものかと思案していたところ、友人より障がい者へのネイルケアをしているところがあると紹介を受け、お会いさせていただいたところ、爪の機能や型や施術の方法など、丁寧な説明を受け、納得したためお願いすることにしました。息子の拇趾は巻き爪のせいで化膿していましたのでリハビリでの歩行訓練が辛そうでした。本人が意思表示できなければなおさらです。確かに歩行訓練やストレッチ、リハビリなどは大切ですが、本当はもっと身体の先端にある所からケアしてあげるのも一つのリハビリの手段かもしれません。

そんな意味ではネイルケアは足先のマッサージもしてくださるので皮膚感覚を呼び起こす良い刺激であると思います。

現在は巻き爪も改善され、リハビリも良好で本人も快適な状態です。

でも本当はネイルケアを通じて他人とのコミュニケーションを取ることが一番のケアなのではないかと思いました。



ケアセラピスト講師、看護師の美島めぐみです。
私は外科診療所でアルバイトをしていたときから、高齢者施設の爪切りや巻き爪の外科処置をたくさん見てきました。

また、老人保健施設などの医師と連携し、巻き爪のケアをしてきました。
現在は、高齢者施設でネイルケアと共に、巻き爪や肥厚爪のサロンワーク、ケアセラピストやネイリストの育成、巻き爪補正師の育成を行っています。
その中で、ADL（日常生活動作）の低下や加齢に伴い発生する身体の変化や、それに付随して起こる足のトラブルに接し、ケアセラピストがいかに重要で必要な存在なのか、痛感しています。

爪のさまざまなトラブルを防ぎ、健やかな状態を維持するには、適切なネイルケアが欠かせません。

健康な爪を維持することでADLを維持・拡大でき、結果としてQOL（生活の質）の向上へとつながっていきます。医療保険や介護保険という制度内ではカバーしきれない、手が届きそうで届かない部分を、ケアセラピストの知識や技術で埋めることができると考えています。

癒しと実技ケアを提供し、皆様の健康づくりのお手伝いできれば幸いです。



看護師
ケアセラピスト講師
美島 めぐみ

シニア検定 / ケアセラピスト / ビューティケアセラピストはeラーニングで受講できます。

詳しくは [グローリア 21](#) [検索](#) [トップページをご覧ください。](#)

(株) グローリア 21 日本ケアセラピスト協会 / 一般社団法人 日本シニア検定協会 本部長
〒454-0927 名古屋市中川区打中 2-105

お問合せ Tel : 052-354-6211 Mail : gl21@asai-clinic.co.jp